

プライバシーポリシー

1. 女神の虎 について

一般財団法人尾崎ゆり財団（以下「当財団」）並びにその子会社及び関連会社（以下「当財団グループ」）は、寄付型クラウドファンディングプラットフォームをはじめとした様々なサービス事業（以下「当財団サービス」）を提供するにあたり、個人情報を取り扱うことがあります。当財団グループは当財団サービスにおいて、個人情報保護に関する適用法令及びその他の規範を遵守し、自主的なルール及び体制を確立し、本プライバシーポリシーを定め、これを実施し、かつ、維持することを宣言いたします。

2. 本プライバシーポリシーの適用

本プライバシーポリシーは、当財団グループの個人情報の取り扱いについて定めたものです。個人情報の利用方法、個人情報が共有される場合の共有方法、さらには個人情報の取り扱いに対するユーザーの諸権利及び選択肢についても言及しています。なお、当財団グループ各社において個別のプライバシーポリシーが定められている場合は、本プライバシーポリシーのほか、それらのポリシーの定めるところによるものとします。また、当財団サービスでは、クッキー（Cookie）やその他類似のテクノロジーも使用されているため、この点についても説明を行っています。

ユーザーは、当財団サービスを使用することにより、本プライバシーポリシーを理解のうえ同意したものとみなされます。

3. 本プライバシーポリシーの変更

当財団グループは、個人情報に関する取り扱い又は関連法令の変更を反映するため、本プライバシーポリシーを予告なく変更する場合があります。当財団グループは、適切な方法（当財団グループのウェブサイトへの掲載、メールの送信等）により本プライバシーポリシーの変更にかかる通知又は公表を行います。当該変更は、当財団サービスに掲載された時点で有効になりますが、適用法令又は変更内容により、ユーザーへの十分な期間を設けた告知又はユーザーの同意が求められる場合、これを適切に履践するものといたします。

4. 収集する個人情報

本プライバシーポリシーにおける「個人情報」とは、適用法令に基づき、個人を識別することができる情報を指します。たとえば日本の個人情報保護法が適用されるユーザーの場合、個人情報とは、個人に関する情報であり、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他

の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）を指します。また、EU 一般データ保護規則（General Data Protection Regulation、以下「GDPR」といいます）が適用されるユーザーの場合には同規則に規定された「personal data」に基づく定義、カリフォルニア州消費者プライバシー法（The California Consumer Privacy Act of 2018、以下「CCPA」といいます）が適用されるユーザーの場合には同法に規定された「personal information」に基づく定義に準拠します。

当財団グループは当財団サービスにおいて、ユーザーから以下の個人情報を収集いたします。

□ユーザー登録データ

当財団サービスをご利用される方の氏名、住所、電話番号、メールアドレス、銀行口座情報、SNS アカウント、顔写真を含む本人確認資料に記載されている事項などが含まれます。

□サービス利用データ

当財団サービスをご利用される方の IP アドレス、Cookie、アクセスログ、使用するデバイスの種類、デバイス ID、デバイス属性、ネットワーク接続の種類及びプロバイダ、ネットワークやデバイスの性能、ブラウザの種類、言語、OS などの情報が含まれます。

ユーザーから取得した各種個人データの利用目的と GDPR に基づく処理の法的根拠は以下のとおりです。

種類	利用目的	根拠
ユーザー登録データ	当財団サービス(プロジェクトの起案又は支援)への登録・ログイン時等の本人確認のため	契約の履行 正当な利益
	当財団サービスに関するご案内、ご連絡、メールマガジンの配信、アンケート調査などの実施のため	正当な利益
	当財団サービスにおけるプロジェクト支援者に対して、プロジェクトが不成立した場合などの返金処理のため	契約の履行
	当財団サービスにおけるプロジェクトで集まった支援金を志願者に対して振込むため	契約の履行
	当財団サービスにおける特例プロジェクトのリターン発送の	契約の履行

	ため	正当な利益
	当財団グループ、ユーザー又は第三者の生命、身体、財産を守るために裁判所、捜査機関等関係当局に協力するため	法的義務の遵守
	当財団サービスに関連した目的でのご案内及びご連絡のため	契約の履行 正当な利益
サービス利用 データ	ユーザーの位置情報に基づいて、機能、情報、広告、又はその他のコンテンツを提供するため	正当な利益
	ユーザーが当財団サービスにアクセスして利用する方法の把握、利用状況を分析するため	正当な利益
	当財団サービスの最適化、新サービスの開発のため	正当な利益

「契約の履行」とは、当財団グループがユーザーとの契約を履行するために、当該個人情報を利用することを指します。たとえばプロジェクトで集まった支援金を志願者に振り込むのは当財団グループが契約上負う義務の履行であり、そのために個人情報をを用いることがあります。

「正当な利益」とは、ユーザーが当財団グループに期待するサービスを提供するために、当財団グループがサービスの水準の維持又は発展を企図して個人情報を活用することを指します。たとえば、ユーザーの利用状況を分析し、ユーザーの皆さまにとってより使用しやすいサービス設計を行うことなどが挙げられます。

「法的義務の遵守」とは、当財団グループが適用法令に基づき裁判所や捜査機関といった関係当局に対する協力を行う場合に、個人情報を提供等することを指します。たとえばユーザーが不法行為の被害者となり、その財産を守るために個人情報を捜査機関に提供するといったことが挙げられます。

5. 個人情報の利用方法

当財団グループは、収集した個人情報を以下の目的で利用することができるものとします。

本人確認、認証サービスのため

アフターサービス、お問い合わせ、苦情対応のため

当財団グループ及び当財団サービスへのお問い合わせ、当財団サービスの運営上必要な事項の通知（電子メールによるものを含むものとします。）

ユーザーが投稿した情報の掲載のため

システムの維持、不具合対応のため

当財団サービスの改善や新サービスの開発等に役立てるため

登録ユーザーの反社会的勢力の該当性を判断するため

当財団グループのサービス・商品等に関するご案内（セミナー・説明会などによるものを含みます。）、キャンペーン・懸賞企画、アンケート実施のため

メールマガジンの送信のため

ダイレクトメールの送付のため

マーケティングデータの調査・分析のため

当財団グループ又は第三者のウェブサイト、Web メディア、SNS サービス、プレスリリース配信サービス、本、雑誌その他メディア上にユーザーの属性にあった広告を表示、掲載又は配信するため

ユーザーの位置情報に基づいて、機能、情報、広告、又はその他のコンテンツを提供するため

ユーザーが当財団サービスにアクセスして利用する方法の把握、利用状況を分析するため

当財団グループ及び業務提携企業に提供する統計資料作成のため

当財団サービスに付帯する支援保証の業務遂行のため

その他当財団グループの各サービスにおいて個別に定める目的のため

当財団が加入する賠償責任保険等の保険金請求をするため

その他、上記利用目的に付随する目的のため

6. クッキー及びアクセスログについて

当財団サービスでは、クッキー（Cookie）と呼ばれる技術を利用しています。クッキーとは、特定の情報をユーザーの利用する通信機器に一時的にデータとして保持させ、接続の度にそのデータを基にユーザーを識別させる仕組みをいいます。当財団グループでは、クッキーの利用を前提としたサービスを提供しています。そのため、クッキーの利用を許可しない場合、当財団グループの一部のサービスの利用を受けられないことがあります。クッキーの利用に際して、適用法令に基づきユーザーの同意を取得する必要がある場合、当財団グループは適切に当該同意を取得します。また、クッキーの利用を許可するかどうかは、ユーザーのブラウザで設定できます。必要に応じて設定を確認してください。

さらに、当財団グループのサービスでは、収集タグ等を設置し、アクセスログを取得することがございます。アクセスログには、本ウェブサイトアクセスされたユーザーの IP アドレス、ホスト名、使用ブラウザ名、アクセス日時等の情報が含まれます。

クッキー及びアクセスログを利用した行動分析・広告配信について

当財団サービスでは、サイトの利用状況の把握、サイトの改善、レポートの作成や適切な広告・宣伝表示をするために当財団グループ又は第三者のクッキー、アクセスログを利用しています。クッキーより取得される情報及びアクセスログは、当財団グループ又は第三者のプライバシーポリシー等に基づいて管理されます。

ユーザーは、広告・宣伝の配信やアクセスログの収集を望まない場合、下記の各企業のサイトにアクセスし、無効化（オプトアウト）の手続きをとることにより、広告・宣伝の配信やアクセスログの収集を停止することができます。

Google

<https://www.google.com/settings/u/0/ads/authenticated>

<https://tools.google.com/dlpage/gaoptout?hl=ja>

Yahoo!

<https://www.lycorp.co.jp/ja/company/privacypolicy/>

<https://btoptout.yahoo.co.jp/optout/index.html>

LINE

<https://www.lycorp.co.jp/ja/company/privacypolicy/>

https://terms.line.me/line_rules_optimize

X

<https://x.com/ja/privacy>

Facebook

<https://www.facebook.com/ads/preferences>

<https://www.facebook.com/help/109378269482053>

Instagram

<https://www.facebook.com/help/instagram/155833707900388>

https://privacycenter.instagram.com/policy/?entry_point=ig_help_center_data_policy_redirect

Criteo

<https://www.criteo.com/jp/privacy/>

<https://www.criteo.com/jp/privacy/disable-criteo-services-on-internet-browsers/>

また当財団サービスでは利用状況の分析に Google 社が提供する Google アナリティクス及

び Firebase を使用しています。Google アナリティクス及び Firebase ではクッキーやウェブビーコンを利用して、個人を識別できない形式で当財団サービスの利用データを収集しています。Google アナリティクス及び Firebase 内でのクッキーの利用に関しては Google のプライバシーポリシーと規約に則っています。

Google アナリティクスおよび Firebase によるデータ収集の仕組みや無効化の方法はこちらをご覧ください。

Google ポリシーと規約：<http://www.google.com/intl/ja/policies/privacy/>

Firebase の利用規約：<https://firebase.google.com/terms>

7. 個人情報の第三者提供

当財団グループは、以下に定める場合に、個人情報を第三者に提供することができるものとします。

本人の同意がある場合（たとえば、国内外の志願者がリターンの提供のために支援者の個人情報を必要とする場合、支援者は 女神の虎 に提供した個人情報を、同利用目的の範囲内に限定して国内外の志願者が取得することに利用規約への同意をもって同意したものとします。）

裁判所、検察庁、警察、税務署、弁護士会又はこれらに準じた権限を持つ機関から、個人情報の開示を求められた場合

保険金請求のために保険会社に開示する場合

第三者のウェブサイト、Web メディア、SNS サービス、プレスリリース配信サービス、本、雑誌その他メディア上にユーザーの属性にあった広告を表示、掲載又は配信するために、当該第三者に提供する場合

利用目的の達成に必要な範囲内において当財団グループが行う業務の全部又は一部を第三者に委託する場合

当財団グループに対して秘密保持義務を負う者に対して開示する場合

当財団グループの権利行使に必要な場合

合併、営業譲渡その他の事由による事業の承継の際に、事業を承継する者に対して開示する場合

個人情報保護法その他の法令により認められた場合

なお、アメリカ合衆国カリフォルニア州住民のユーザーの個人情報については、他の地域のユーザーと同じく、CCPA における個人情報の販売（the sale of the consumer's personal information）は行っておりません。

また、当財団グループは、ユーザーへのサービスの提供等のため必要がある場合（決済代行等）には、委託先に対する必要かつ適切な監督を行った上で、個人情報の取り扱いを第

三者に委託することがあります。

8. 個人情報の共同利用

当財団グループは、以下に従い、当グループが収集した個人情報を共同利用する場合があります。

【当財団グループ内外での共同利用】

（共同利用される個人情報）

上記「4. 収集する個人情報」に定めるユーザー登録データおよびサービス利用データ

（共同利用する者の範囲）

当財団グループ会社

当財団のクラウドファンディング事業に係る業務提携先

（利用する者の利用目的）

共同運営サービスにおける、上記「5. 個人情報の利用方法」に付随する目的

（共同利用対象となるサービス）

女神の虎

（共同利用される個人情報の管理について責任を有する者）

一般財団法人尾崎ゆり財団

9. 匿名加工情報

当財団グループは、匿名加工情報について以下の通り定めます。

1. 方針

特定の個人を識別することができないように個人情報を加工し、また当該個人情報を復元することができないようにした情報を匿名加工情報といいます。

当財団グループは、個人情報保護法その他の法令及び「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」その他のガイドラインを遵守して、匿名加工情報及び加工方法等情報（「匿名加工情報等」）の適正な取扱いを行います。

2. 安全管理措置に関する事項

当財団グループは、匿名加工情報等について、漏えい、滅失又はき損の防止等、その管理のために必要かつ適切な安全管理措置を講じます。また、匿名加工情報等を取り扱う従業員や委託先（再委託先等を含みます。）に対して、必要かつ適切な監督を行います。

3. 当財団の作成した匿名加工情報に含まれる「個人に関する情報の項目」

当財団グループは現時点ではまだ匿名加工情報を作成したことはありません。

4. 第三者提供をする匿名加工情報に関する事項

当財団グループは、第三者から提供された匿名加工情報を各種の分析、解析、調査等に活用するとともに、業務上必要な範囲で保有する匿名加工情報を第三者に提供する場合があります。匿名加工情報を第三者に提供する場合には、提供しようとする匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目と提供の方法を公表するとともに、提供先となる第三者に対して、提供する情報が匿名加工情報であることを明示します。

5. 識別行為の禁止

当財団グループは、自ら作成した匿名加工情報以外の匿名加工情報を取り扱うに当たっては、当該匿名加工情報の作成に用いられた個人情報に係る本人を識別するために、当該個人情報から削除された記述等若しくは個人識別符号若しくは匿名加工情報の作成において行われた加工の方法に関する情報を取得し、又は当該匿名加工情報を他の情報と照合しないものとします。

10. 第三国への移転

当財団グループは、個人情報の取り扱いを第三者に委託するために、ユーザーの個人データを日本・欧州連合加盟国及びアイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー（以下「EEA」といいます。）以外の第三国（充分性認定を取得している国・地域を除く）に移転する場合は、Privacy Shield Framework の下での認証、標準契約条項の締結その他の適用法令に基づく方法により移転先の安全性を確保したのち移転いたします。

なお、当財団は日本に拠点を置いているため、日本国内で個人データを安全に処理いたします。

2019 年 1 月 23 日、欧州委員会は日本に関する充分性認定を採択し、強力な保護保証に基づき、2 つの経済圏間で個人データの移転が認められております。

11. 業務委託先に対する情報の提供

当財団グループは、当財団サービスに関して第三者からサポートサービスを得る場合において、利用目的の達成に必要な範囲内において業務の全部又は一部を委託することに伴って、信頼できる業者にユーザーの個人情報を共有する場合があります。当該共有を行う場合、当財団グループは、当該業者に対し、当財団グループが許諾した目的の範囲内においてのみユーザー情報を利用する義務を課し、当財団グループと同じ又はそれ以上の基準に

従ってユーザー情報を保護する義務を課します。また、当財団グループは、一定の措置を講じて個人を識別することができないように個人情報を加工して、当該個人情報を復元することができないようにしたものを第三者に提供する場合があります。

12. 情報の保持、保存期間

当財団グループは、ユーザーの情報に関して、その利用目的の遂行に必要な期間、又は適用法令等が定める期間、ユーザーの情報を保持、保存します。利用目的遂行後、又は適用法令等が定める期間終了後、個人情報は速やかに削除されます。ただし、当財団グループの法的義務の順守及び権利利益の保護のため、ユーザーの情報を保持、保存し使用する場合があります。

また、当財団グループでは、一定の措置を講じて個人を識別することができないように個人情報を加工して、当該個人情報を復元することができないようにしたデータの収集と保持も行っています。当該データは、原則として、目的遂行後、又は法定の期間終了後、速やかに削除されますが、当財団グループの権利利益の保護、当財団サービスの改善、又は法的義務の遵守のために引き続き保持、保存されることがあります。

13. ユーザーの権利

一定の国又は地域に居住するユーザーには、自らの個人情報に関して一定の権利が認められています。原則として、当該権利には、自らの個人情報に係るアクセス権利や、その収集及び削除を求める権利が含まれていますが、その権利行使のための条件、あるいは付加的なその他の権利は各国によって異なります。したがって、特に EEA 居住のユーザー及びアメリカ合衆国カリフォルニア州居住のユーザーに対しては 14. 及び 15. 記載の通り別途ユーザーの権利についてご説明いたします。

1. 個人情報の開示

当財団グループは、ユーザーから、個人情報の開示を求められたときは、ユーザーご本人に対し、遅滞なく開示します。ただし、開示することにより次のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を開示しないこともあり、開示しない決定をした場合には、その旨を遅滞なく通知します。ユーザーは、第三者提供に係る記録の開示請求を行うことができます。

ユーザー又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
当財団グループの業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

他の法令に違反することとなる場合

2.個人情報の訂正・追加・削除・利用停止・消去

当財団グループは、ユーザーご本人より当該本人の個人情報の訂正、追加、削除、利用の停止又は消去を求められた場合には、ユーザーご本人であることを確認させていただいた上で法令に基づき合理的な期間内に対応いたします。

14. EEA の居住者

当財団グループが取り扱う EEA 居住者の個人情報及び GDPR に基づくユーザーの権利について説明します。

1.同意を撤回する権利

ユーザーは、当財団グループがユーザーの同意を得て個人データを取得した場合であっても、当該同意をいつでも撤回することができます。同意を撤回した場合、ユーザーは当財団サービスの全部又は一部を利用できなくなることがあります。

2.知る権利

ユーザーは、当財団グループが別途指定する手続きによって、当財団グループが保有するユーザーの個人情報に関する説明、当該情報の利用目的・利用方法に関する説明を求めることができ、また、ユーザーの個人情報の写しの交付を受けることができます。

3.削除する権利

ユーザーは、当財団グループがユーザーに関して取り扱う個人情報の削除を求めることができます。ただし、次の場合にはこの限りではありません。

法的義務を遵守するために必要な場合

事業上正当な目的がある場合

法的主張に関する証明、行使又は抗弁に必要な場合

4.変更又は修正する権利

ユーザーは、当財団グループがユーザーから収集した個人情報が不正確な場合には、当財団グループが別途指定する手続きによって、これを変更し、追加し、修正することを求めることができます。

5.個人情報の使用に異議を唱える、又はこれを限定若しくは制限する権利

ユーザーは、ユーザーに関する個人情報の全部又は一部の使用を中止し、又はそれらの使用を当財団グループに制限するよう求めることができます。また、当財団グループによる

個人情報の取扱いについて EEA 域内の各国の監督機関、または当グループに対して、いつでも異議・苦情を申し立てることができます。

6. データ・ポータビリティの権利

ユーザーは、当財団グループに提供した自己の個人情報を、構造化され一般的に利用されている機械で読み取り可能な形式で受け取り、当財団グループの妨害なしに、そのデータを他の管理者に移転することができます。

15. アメリカ合衆国-カリフォルニア州の居住者

当財団グループが取り扱うカリフォルニア州居住者の個人情報及び CCPA に基づくユーザーの権利について説明します。ユーザーがカリフォルニア州の居住者である場合、CCPA に基づき、ユーザーは次の権利を行使することができます。

1. 知る権利

当財団グループが過去 12 か月間に収集したユーザーの個人情報について、12 か月間に最大 2 回まで次の情報の開示を請求することができます。

当財団グループがユーザーに関して収集した個人情報のカテゴリー

当該個人情報に係る情報源のカテゴリー

当該個人情報の収集に係る目的

当該個人情報を共有した第三者のカテゴリー

当財団グループが事業目的で開示したユーザーの個人情報に係るカテゴリー、及び当財団グループがその情報を事業目的で開示した第三者に係るカテゴリー

2. 削除する権利

ユーザーは、CCPA の規定する限りで、当財団グループがユーザーから収集した個人情報の削除を求めることができます。

3. 個人情報の販売のオプトアウト権

ユーザーは、自身の個人情報の販売についてオプトアウトするよう求めることができます。ただし、当財団グループは、すでに述べたとおり個人情報の販売、使用、共有、貸与等をしておりません。この点についてご不明な点がある場合は以下のお問い合わせ窓口よりご連絡ください。

4. 差別的取り扱いの拒否

当財団グループは、ユーザーが上記の権利を行使するにあたって、あるいは行使したことにより不当な扱い、他のユーザーとの差別的取り扱いを行いません。

上記の権利を行使する要求する場合は、以下のお問い合わせ窓口を通じて当財団宛てにご連絡いただけます。その際、権利行使の根拠等を確認するために本人確認書類等による身元確認を行う場合があります。

16. メール又はモバイルによる通知

当財団グループは、当財団サービスに係る取引又は当財団サービス提供に関連するお知らせを必要に応じて送信します。ただし、当財団グループは、ユーザーが望まない連絡を控えるようにしています。当財団グループが送るマーケティング目的の連絡に関しては、オプトイン（事前の同意を取得すること）を原則としています。

17. 安全管理に関する事項

当財団グループは、当財団グループが保持するお客様の個人情報について、漏洩、滅失または毀損の防止等、その管理のために必要かつ適切な安全管理措置を講じます。

また、個人情報を取り扱う従業者や委託先（再委託先を含む）に対して、必要かつ適切な監督を行います。個人情報の安全管理措置の主な内容は以下のとおりです。

（基本方針（プライバシーポリシー）の策定）

個人情報の適正な取扱いの確保のため、関係法令及びガイドラインを遵守するとともに、プライバシーポリシーを策定しています。

（個人情報の取扱いに係る規律の整備）

取得、利用、保存、提供、削除・廃棄等を行う場合の取扱い方法、責任者・担当者について、社内規程を策定しています。

（組織的安全管理措置）

個人情報の取扱いに関する個人情報保護責任者を設置するとともに、個人情報を取り扱う従業者及び当該従業者が取り扱う個人情報の範囲を明確化し、個人情報保護法や社内規程等に違反している事実又は兆候を把握した場合の個人情報保護統括責任者への報告連絡体制を整備しています。

個人情報の取扱い状況について、定期的に自己点検を実施するとともに、他部署や外部の者による監査を実施しています。

（人的安全管理措置）

個人情報の取扱いに関する留意事項について、従業者に定期的な研修を実施しています。

個人情報についての秘密保持に関する事項を、社内規程等に記載しています。

（物理的安全管理措置）

個人情報を取り扱う区域において、従業者の入退室管理及びアクセスできる機器等の制限を行うとともに、権限を有しない者による個人情報の閲覧を防止する措置を実施しています。

個人情報を取り扱う機器、電子媒体及び書類等の盗難又は紛失等を防止するための措置を講じるとともに、事業所内の移動を含め、当該機器、電子媒体等を持ち運ぶ場合、容易に個人情報が判明しないよう措置を実施しています。

（技術的安全管理措置）

アクセス制御を実施して、担当者及び取り扱う個人情報を含むデータベース等の範囲を限定しています。

個人情報を取り扱う情報システムを外部からの不正アクセス又は不正ソフトウェアから保護する仕組みを導入しています。

（外的環境の把握）

個人データを保管している外国における個人情報の保護に関する制度を把握した上で、安全措置を実施しています。

18. 他社サイトへのリンク

当財団サイトには、他社サイト等へのリンクが記載されている場合があります。他社サイト等においては、当財団サイトとは異なる当該サイト独自のルールやプライバシーポリシーが適用されますので、ご注意ください。

19. お子様の使用

当財団は、日本国内外に居住する 18 歳未満の未成年にはご利用いただけません。日本国内外に居住する 18 歳未満の未成年は、本サービスで個人情報を提供しないでください。万が一個人情報の提供が行われた場合には以下のお問い合わせ窓口よりご連絡いただくことで、適時に削除処理を行います。

20. お問い合わせ先

ご質問や苦情、本プライバシーポリシーに記載している権利の行使に関しては、以下の連絡先にお問い合わせください。

一般財団法人尾崎ゆり財団 お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/9W5WBRmLRPjk2GkA6>